

平成26年度入学試験問題（後期日程）

## 小論文

理学部 海洋自然科学科 生物系

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

1

非公開

図 1 ダイオウイカの平衡石断面の顕微鏡写真。スケールバー（左隅の横棒）は 0.02 mm を示す。（N. H. Landman · J. K. Cochran · R. Cerrato · J. Mak · C. F. E. Roper · C. C. Lu, *Marine Biology*, 2004 年, 144 巻 687 ページ, 一部改変）

2 次の文章は、後漢時代に班固と妹の班昭によって編纂された歴史書（漢書）の一節である。

原文：充国曰、百聞不如一見、兵難險度、臣願馳至金城、図上方略

大意：趙充国が言いました、「百聞は一見に如かず。遠く離れたところでは前線の状態はよくわかりません。私自身が馬で実際に金城に行き、練った戦略を奉りましょう。」

現在では、下線部が諺として広く使われている。

諸君が、琉球大学理学部海洋自然科学科生物系で深く学びたいと思っている生物学上の事柄を一つ挙げ、この諺の意味に即して、具体的に行うべきこととその理由を、400字以上、600字以内で述べなさい。

## 平成26年度入学試験問題（後期日程）

# 小論文

理学部 海洋自然科学科 生物系

### 出題の意図

この小論文の出題の意図は、理学部海洋自然科学科生物系のアドミッションポリシーに関連した以下の2つである。(1) 理学部海洋自然科学科生物系では「生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人」を求めている。これに関し、生物学の特定の課題に対し、問題の中で与えられた条件とヒント、および高校レベルの生物の基礎知識をもとに、課題解決に必要な道筋を一つ一つ論理的に考案し、それらをきちんと具体的かつ科学的に説明する能力を評価する。(2) 上記に加え、理学部海洋自然科学科生物系では「多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味を持ち、深く学びたいという意欲のある人」および「自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人」を求めている。これに関し、大学で学ぶにあたり、講義等の座学で得られる知識や自らの興味を発展させて探求していく能動的な学修姿勢を、自らの生物学的興味を題材として説明させ、評価する。